

近江アカデミー 鎌倉教室 2015年2月開講！！

英語教育関係者、中上級学習者のための 近江誠の直接指導による スピーチ・コミュニケーション講座

英語教育は結局のところ教師である。

本ワークショップは音読、朗読、朗読劇、読み聞かせ、レシテーション、スピーチ、演劇、ディベートなどの活動に漠然と興味はあるが別個の、しかも目的と捉えてきた方々に、すべて打って一丸となった**オーラルインタープリテーションとモード転換による教授法**を体得していただき〈真正コミュニケーション能力〉と〈入試対応能力〉育成の両目的達成の一助としていただくことにある…

開講の趣旨

各位

文科省による英語科の新学習指導要領がスタートして以来、皆さまにおかれましては日々、創意、工夫を重ねられていることと存じます。

小学校から英語を導入することが解決法の道ではありません。これは英語教育に関しては素人の財界人の圧力に対して、英語が本当には使いこなしていない名ばかりの有名教授たちが推進してきた愚策にしかほかなりません。

中学からで充分です。要は指導者の実力です。

今回の改定においては「オーラル・コミュニケーション」の「オーラル」が落ち、「英語コミュニケーション」になっています。これは大いに評価できる改革で、大変な意味を持ちます。というのは本来英語に「オーラル」と「オーラルにあらざるもの」の区別があるものではないからです。話された文章はいうに及ばず、書かれた文章はどんなものであろうと一たとえば詩、散文、戯曲などの文学作品はもちろん、教科書であろうと入試問題の長文であろうと、TO

E I C問題集の英文であろうと、いずれもその文の語り手のコミュニケーションの産物であり、〈意味は語り手がことばにあたえているという言語パロール〉観を土台にしているもので、従来の、〈ことばの中に決定済みのものとして内在している〉という言語ラング観と著しく異なるものだからです。

あるべき姿にやっと到達したようですが、この一大パラダイム転換が絵に描いた餅に終わらないようにするためにはどうしたらいいのでしょうか。それはやはり英語関係者の英語力と教材処理能力です。残念ながら従来の英語科教育学はこれに対しては結果を出せないできています。

ワークショップは次の基本的には次のステップで行います。

1. 与えられた素材を「コミュニケーション7つのポイント」に従って批判的味読（コミュニケーション的な精読）をする。伝統的な、精読とも速読ともつかないリーディングではなく、語りとして原文の話者の意図を探るコミュニケーション的な精読、第三の読みです。方法はスピーチ学の伝統的な訓練である Interpretive Reading（別名 Oral Interpretation）とほぼ同じ解釈法であり、受講者には〈理解の仕方によって音読表現は全く異なる〉というところを体験していただきます。
2. 1を何度も各自で行い素材を体に無限に馴染ませて行きます。
豊かなる出力には豊かなる入力先行します。そのためには耳からの仕入れだけでは限りがあります。どうして通常リーディングの対象としか思われていなかったいわゆる文章からの取り込みが必要になります。
4. モード転換(素材の語り手の立ち位置を変化させる)を通して、仕入れた英語の内在化を目指すために立ち位置を変えて表現してみる訓練をします。

表現学習ではありません。表現だけを目指した途端に表現は薄っぺらなものになってしまいます。オーラルインタープリテーションは素材を語り手の表現行為の産物としてみて自分でも表現してみることで実は解釈力をも深めいく訓練であります。そしてその深まりをもって素材を朗読表現することで、ネイティブのCDを機械的に真似するよりはるかに深く、素材の表現法が線として迅速に、高い定着度をもって体内に取り込まれ、それが自分自身の表現の中に応用されていくことになるのです。

“近江メソッド“(NHK当世キーワード) 創始者

近江 誠(おうみ・まこと) プロフィール

南山短期大学名誉教授。1941年静岡生まれ。愛知県立時習館高校教諭を経て1967年フルブライト留学生として渡米。米インディアナ大学大学院でスピーチ・ドラマ学の学位を取得。1988年コロンビア大学客員研究員。日本コミュニケーション学会第六代、十二代会長を歴任。南山大学・同短大、名古屋大学で教鞭をとる。また各地の講習会、講演、ワークショップを多数行ってきた。現在、京都外国語大学院と近江アカデミーとで主として言語パロール観に基づいた英語コミュニケーション教育訓練を行っている。

著書には『感動する英語!』『挑戦する英語!』(文藝春秋・15万部ベストセラー)『英語コミュニケーションの理論と実際—スピーチ学からの提言—』(研究社、大学英語教育学会実践賞)『オーラルインタープリテーション入門—英語の深い読みと表現の指導—』(大修館書店)『頭と心と体を使う英語の学び方』(研究社出版、アマゾンPOD)『間違いだらけの英語学習—常識38のウソトマコト』『歴史に残る大統領の就任演説』(共著)(以上小学館)『あることば訓練の舞台裏』(朝日出版社近刊) その他多数。

